



COVER PHOTO

NODA・MAP 第21回公演

「足跡姫 ～時代錯誤冬幽霊～」

1月18日(水)～3月12日(日) プレイハウス

作・演出:野田秀樹

出演:宮沢りえ／妻夫木聡／古田新太／

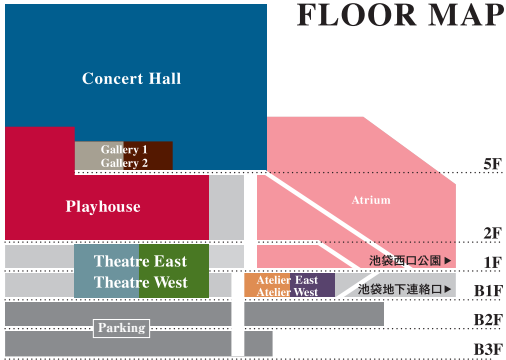
佐藤隆太／鈴木杏／池谷のぶえ／

中村扇雀／野田秀樹

共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre



FLOOR MAP

1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)

予約  
お問合せ | 0570-010-296

(休館日を除く10:00～19:00)

5F 託児サービス だっこルーム

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様の  
お子様をお預かりします。(要予約)

お問合せ | 03-3981-7003

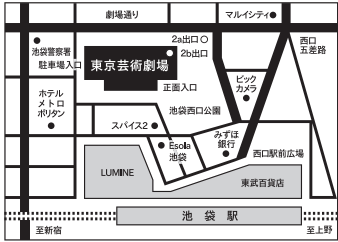
(平日10:00～17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分

営業時間 | 7:00～24:00

お問合せ | 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

開館時間 | 9:00～22:00 (休館日を除く)

お問合せ | 03-5391-2111

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より  
徒歩2分、池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

芸劇 BUZZ

vol.18

2017年1・2・3月号

【編集・発行】東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 【編集・デザイン】COM Works 【印刷】(株)技芸堂

平成28年12月25日発行

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.18 2017

1.2.3.



◆特集・PICKUP

NODA・MAP 第21回公演

「足跡姫 ～時代錯誤冬幽霊～」

指揮 エリアフ・インバル

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

指揮 エサ=ベッカ・サロネン

フィルハーモニア管弦楽団

ボンクリ・フェス2017

クラシカル・プレイヤーズ東京／

第6回音楽大学フェスティバル・オーケストラ ほか

芸劇dance

ローザス「ファーズ」「時の渦」

指揮 鈴木優人

芸劇ウインド・オーケストラ 第3回演奏会

指揮 エリアフ・インバル

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

指揮 エサ=ベッカ・サロネン

フィルハーモニア管弦楽団

ボンクリ・フェス2017

クラシカル・プレイヤーズ東京／

第6回音楽大学フェスティバル・オーケストラ ほか

芸劇

ダンス

ローザス

「ファーズ」

「時の渦」

◆CALENDAR

1月・2月・3月

バレンタイン・ファンタジー池袋／

バックステージツアー／

都民芸術フェスティバル／

子どもたちと芸術家の出あう街／

池袋鉄道模型芸術祭

東京芸術祭2016 芸劇オータムセレクション

フォト・レビュー

東京スカパラダイスオーケストラ

東京芸術劇場 野田秀樹 × GAMO × 谷中 敦

芸劇監督

芸劇監督

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

アサヒグループホールディングス株式会社  
住友生命保険相互会社

Bloomberg L.P.

株式会社資生堂

キッコーマン株式会社  
住友化学株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
明光義塾

株式会社イープラス  
ANAホールディングス株式会社  
株式会社エレベータシステムズ  
オルガノ株式会社  
香山壽夫建築研究所  
国際興業株式会社

三精テクノロジーズ株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
株式会社ジェイアール東日本ビルディング  
JXホールディングス株式会社  
西武鉄道株式会社  
ソニー銀行株式会社  
第一生命保険株式会社  
大和証券株式会社  
多摩美術大学  
株式会社帝国ホテル  
株式会社TBSテレビ  
株式会社テレビ朝日  
東京地下鉄株式会社  
株式会社東京ビッグサイト  
東京臨海熱供給株式会社  
東武鉄道株式会社

株式会社東武百貨店  
常盤興業株式会社  
凸版印刷三幸会  
西池袋熱供給 株式会社  
日本生命保険相互会社  
日本テレビ放送網株式会社  
日本電信電話株式会社  
びあ株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅  
フジテック株式会社  
株式会社 フジテレビジョン  
HOTEL URBAN(ホテルアーバン)  
ホテルメトロポリタン  
株式会社マクロスジャパン  
株式会社 松田平田設計  
株式会社 松村電機製作所

丸茂電機株式会社  
三菱重工業株式会社  
株式会社三菱東京UFJ銀行  
ミュージックスタジオ・フォルテ  
ヤマハサウンドシステム株式会社  
養老乃瀧株式会社  
読売新聞東京本社  
立教大学  
株式会社ルミネ 池袋店  
レンゴー株式会社  
株式会社ローソンHMVエンタテイメント  
株式会社 WOWOW  
渡邊建設株式会社

他 匿名3法人  
2016年12月1日現在 (五十音順)

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。広報営業係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2117



# 足跡姫

ときあやまってふゆのゆうれい  
時代錯誤冬幽霊

射程の長いテーマと、それをダイナミックかつ柔らかく伝える演出で、  
演劇の波及力を自ら更新するNODA・MAP。新作『足跡姫』について、  
作・演出・役者の野田秀樹に聞いた。

近年、アフタートークやポストトークという時間を設け、劇作家や演出家が自作について解説する公演が珍しくなくなった。「もっと作品について知りたい」という観客の好奇心と、多少の説明をしても魅力は損なわれないというつくり手の自信が、うまく合致した現象と言えるだろう。同様に、インターネットのSNSなどでネタバレすることを気にしないつくり手も増えてきた。

そんな状況からすると、野田秀樹は旧時代に属する演劇人に見える。アフタートークの開催はゼロ、舞台を映像に残すことは（許可してはいるが）基本的に別物だと捉えているし、内容が事前に漏れることに関しては極めて厳しい。だが、新しいことに否定的でないことは、現在の日本の演劇に大きな影響をもたらしたワークショップやフィジカルシアターをいち早く導入したことからも明確で、前述のストイックな姿勢も、舞台上に足を運んでくれる観客が出合う驚きが、少しでも多く、先入観のないものになるようにするのが自分たちの責任でもあると考えてのことだろう。

というわけで『足跡姫』を巡るインタビューは、決して細かくストーリー等に触れるものではないが、奇しくも、舞台という表現に対する野田の想いと重なる内容となった。

—— 今、新作の内容について明らかになっているのは、勘三郎さん（十八代目中村勘三郎）へのオマージュであること、その葬儀の際の三津五郎さん（十代目坂東三津五郎）の弔辞が執筆の引き金になったと伺いました。とは

いえ、勘三郎さんの人生を演劇にされるわけではないですよね？

野田 それはしません。まあ、歌舞伎の始まりの頃のような話はどうかなあと。——『足跡姫〜時代錯誤冬幽霊〜』というタイトルは詩的な響きもありますし、「そくせき」と読むと歴史につながっていくような部分もあって、素敵だと思いますが、直感的に決められたのでしょうか？

野田 そうですね。足跡の話を書きます。非常に好きな響きです。——「あしあと」という言葉の響きが？ それとも足跡をつくる、歩いたり走ったりする足の響きが？

野田 それはどうでしょう（笑）。

——時代設定はいつですか？

野田 今のところ、江戸時代から飛ばないつもりです。

——三津五郎さんの弔辞が、非常に大きなきっかけになったとお聞きました。

野田 そうですね、「肉体の芸術ってつらいね。死んじゃったあとは何も残らないもんね」というふうに仰ったと思います。

——その言葉を、野田さんはどう受け止められたのでしょうか？

野田 「なるほど、上手いこと言うな」と。自分は書くという仕事があるからまだ残るけれど、彼らはそういう仕事なんだなあと改めて感じました。

今は（舞台も）映像で残せますが、それが余計にいやなんです。映像に上手く残せる人と本当に上手い人はまったく違うんですよ。そして、上手く残せることに長けている人が上手いふうに残るじゃないですか。こっちがいくら「そ

んなんじゃないよ、ビデオでは良く残っていないけど、この人のほうが全然すごいんだよ」と言っても、当のすごい人が死んでしまっていたら、そのままになっちゃう。

——確かに、編集しやすい演技や表情をする俳優と、そうでない俳優はいそうですね。そして編集しづらい俳優こそ、舞台上にしかない呼吸で動いているのかもしれない。

野田 勘三郎の、こういう言い方は誤解を生むかもしれないけれど、下品なアドリブをビデオで撮ってもつまらないと思うんですよ。落語家の先代の林家三平さんが持っていたようなサービス精神に近い、目の前にいる人たちの空気を温めさえすれば、まずはいいんだという迫力。芸術家ではなく芸能人（げいのうびと）の精神を持っていて、そこから発せられる言葉ですよ。あれをビデオに撮って残してねと言っても、その場に生まれた温かみ——ばかばかしさも含めて——や客席とのやり取りの空気は映るはずがない。そういうことをはじめとして、不満なんです。その人たちが生でやったものが映っていない映像が本物だと思われることは。……『足跡姫』はそういう話ではありませんけど、舞台をやり続ける限りはそのことは常に言っていきたいと思っています。

——数カ月前になりますが、蜷川幸雄さんの思い出を伺った折にも、蜷川さんがいかに優れた仕事をされたか、素晴らしい演出家だったかを、きちんと残さないといけないと野田さんはおっしゃっていましたが、語り継ぐということでしょうか？

野田 いや、語り継ぐことも、今のこのネット社会では、信用度がガクンと落ちてしまいましたよね。昔、本というものには責任が伴いました。書いた人、出版した会社がはっきりしていたから、嘘を書いたら「こいつは嘘つきだ」となりましたが、ネットは、誰が何を根拠に書いたか検証されないうちにドーンと広がってしまうじゃないですか。そして1度広がると止めようがない。そうすると、語り継がれてもその言葉を信用していないか、常に疑いが付いて回る。あるいは「勘三郎・弔辞」と検索すれば三津五郎さんの言葉もすぐに出てきて、それをパッと見て「ああ、これか」でわかった気になってしまう。

放たれてしまった気がするんですよ、しっかり持っておかなきゃいけなかったものが。その絶望感があります。もちろん、ネットの中でもちゃんとした言葉を発してる人はいるし、人はそんなに馬鹿じゃないから、今の現象

が少し収まったときに何か対策が生まれたり淘汰があったりする可能性があるかと信じていたんですけど。

——映像ではなく、語り継ぐという形も取らず、演劇で、勘三郎さんが遺したものが観た人の中に息づくようになりたいということですね。

野田 そうなるといいですね。とは言え、僕もネットを使っている、非常に便利だと思っています。検索して「ふうん」とか思ったりしていますからね（笑）。どうしても人間は便利なほうに流れるので、どこから自分でブレーキをかけるか。次の世代のほうがもっとそれを考えなくてはならないでしょうね。もしくは人間がネットに反撃するくらいのことをしないと。

——近年のNODA・MAP作品は柔らかな入り口から次第に特定の戦争の話へとスライドしていく構造です。今回は勘三郎さんのことから出発されている点から、もう少し個人的な話になるのかと想像するのですが。

野田 自分の、というか、演劇をやっている人間としての、言葉を書いているかもしれませんね、今。個人的と言えばそうかもしれない。……でも、いつも個人的なんですけどね。自分の関心事を書いているわけですから。ただ今回は確かに、特に演劇をやっている人間だから書くものになっているかもしれないです。

——弔辞を読まれた三津五郎さんも昨年亡くなりましたが、その後に扇田昭彦さん、今年は蜷川幸雄さんといった方々が亡くなって、演劇人の死に対して野田さんのお気持ちが、4年前の勘三郎さんのときとはまた変わった点がありますか？

野田 勘三郎に対しては、年齢が一緒だということが僕の中では大きいんです。全く同じ世代の仲間がボンと死んでしまう。と、自分もこういう終わり方がいつ来るかわからないと教えられるわけで。そのところでどうしても、このあと何本書けるだろう、何本つくれるだろうという意識は生まれますよね。そのとき、僕はずっと演劇をやってきた人間ですから、演劇をやり続けるのは当然なんですけど、身体を使うことも考えつつ、やっぱり書いておきたいという気が強くなるんです。それがどういうことなのか、自分でもまだよくわからないのですが。

——フィクションの力で歴史や現在に切り込みを入れるのがNODA・MAPなので、『足跡姫』も楽しみにしています。ありがとうございました。

取材・文：徳永京子



1月18日(水)~3月12日(日) プレイハウス

詳細はP10~P13へ

作・演出：野田秀樹

出演：宮沢りえ／妻夫木聡／古田新太／佐藤隆太／鈴木杏／池谷のぶえ／中村扇雀／野田秀樹

企画・製作 NODA・MAP 主催：NODA・MAP  
共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都市文化財団）



宮沢りえ



妻夫木聡



古田新太



佐藤隆太



鈴木杏



池谷のぶえ



中村扇雀



野田秀樹





## コドモ発射プロジェクト なむはむだはむ

# 子供の発想に触発された大人の冒険が始まる

岩井秀人と森山未来が進める「コドモ発射プロジェクト」に、人気ミュージシャンの前野健太が参戦。

子供から飛び出した物語の種が次々と大人達を刺激する。

### 生きている言葉に打ちのめされました

「子供が自由に書いた物語を、表現のプロの大人たちがあの手この手で舞台にしたらおもしろい」というアイデアを出した野田秀樹。「それ、野田さんがやらないのなら僕がやります」と手を挙げた岩井秀人。岩井に誘われて「日本にももっと子供に開かれた舞台やダンスがあったほうがいい」と参加を決めた森山未来。そこに加わったのは、孤高の詩と心を引っかくメロディを生み出すシンガーソングライター、前野健太。声をかけたのは森山だという。

**森山** 前から岩井さんと、もうひとりいたらいいね、という話はしていたんです。ただ、僕が身体担当で岩井さんが言葉担当だから、じゃあ音楽の人がいい、という流れではなくて、そういうジャンルの垣根みたいなものを気にせず、自由に話ができる人がいいなと考えていました。

とはいえ、コドモ発射プロジェクトは通常の舞台とは違うので説明しづらく、また、岩井と前野に面識がなかったため、とりあえず、子供が物語を書くワークショップの見学に来てもらった。

**前野** どれもすごかったですよ。「毛は木をふねにした」なんて、僕がいくら（頭で）こねくり回りしても出てこないものが、いきなりポンッと出てくる。そのまますごい詩情です。言葉が生きているから、メロディが付けやすいし、すぐに曲になる。こんなの書かれたら、こっちはほとんどやることがないというか、興奮したし、打ちのめされました。

その反応に、岩井は救われたという。

**岩井** やっぱり（劇作家という）職業柄、僕は文章を全体で見る癖がある。自分で気付かないうちに強迫観念みたいなものが生まれていて、子供達の書いたものも、どうすれば演劇として成立するかを考えていたと思うんです。でも前野さんは歌詞を書く人で、歌詞は短いセンテンスの積み重ねだから、短い言葉ひとつひとつに反応してくれたんです、「岩井さん、なんすか、これ!? すごいっすよ!」と。僕の固まっていたところを、パカーンと砕いてくれました。

この視点が加わったことで、プロジェクトは大きく前進した。

**森山** タイトルの『なむはむだはむ』は、ある子供が書いた物語の中にあった言葉なんですけど、これを発見してくれたのもマエケンさんです。話の前後から察すると、その子は「南無阿弥陀仏」と書きたかったのが、思い出せずにこうなった（笑）。

**前野** ワークショップで書かれた物語のファイルを見せてもらったんですね。あれは、僕にとっては歌の宝庫ですよ。

**森山** マエケンさんは、すごいミュージシャンだけど最近映画に主演したりと、どこか曖昧なところがある。と同時に、存在がポップなんです。わかりやすいという意味でのポップではなく、いるだけで伝わってくるものがある。マエケンさんに声をかけたのは完全に勘ですけど（笑）、来てもらってよかったです。

前述のように映画での演技経験はあるが、前野にとってはこれが初めての舞台出演となる。

**前野** 森山さんには、僕、ギターを持っていないと何もできませんよと言ったんですが、どんな形での出演になるかわからないので、今はちょっと不安です。

とはいえ、約2週間の合宿を挟み、稽古は丁寧に行なわれる予定だ。

**岩井** 子供が書いた台本は成立させますけど、そうじゃないことを探すためにもこの企画はあると僕は思っていて。例えば今、音響担当が、自分がブルミたいなところに入って音を出すのはどうかと言ってきたり、いろいろなアイデアが出ている。そういうものも極力、活かしたいんです。

子供達の自由なひらめきに触発された大人達の奮闘、目で耳で確かめる日が待ちきれない。

取材・文：徳永京子

**2月18日(土)～3月12日(日) シアターウエスト** 詳細はP12・13へ

原案：こどもたち つくってでる人：岩井秀人／森山未来／前野健太  
そもそもこんな企画どうだろうと思った人：野田秀樹

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 「不信～彼女が嘘をつく理由」

3月7日(火)～4月30日(日)※プレビュー公演 3月4日(土)～6日(月) シアターイースト

詳細はP13へ



作・演出：三谷幸喜 出演：段田安則／優香／栗原英雄／戸田恵子

チケット発売：1月14日(土)

### 新鮮な顔合わせで贈るサスペンスフルな悲喜劇

舞台・映画・TVドラマとジャンルを問わない活躍で、いまや日本を代表する喜劇作家となった三谷幸喜。つねに“笑い”を武器にしつつも、人間の裏側を描いたドラマや時代にひそむ恐怖を描いた戯曲でも評価は高い。本作は、そんな三谷が久しぶりに書き下ろすサスペンスだ。

世代の異なる男女が、うっかりと狂言・虚言を口にしたことで、意外な結末を迎えるという悲喜劇。キャストはたったの4人で、“三谷組”からは『国民の映画』などで見せる独特の存在感が印象的な段田安則、彼女が演じることでその人物がいつそう輝く戸田恵子。対する新たな顔ぶれは、三谷の『酒と涙とジギルとハイド』で初舞台にしてヒロインを演じ、コメディエンヌとしての才能を見いだされた優香と、大河ドラマ『真田丸』で真田昌幸の弟・信尹を静謐なたたずまいで演じて注目を集めた栗原英雄だ。シアターイーストの密な空間で、かれらがどんな表情を見せてくれるのか期待が高まる。

さて、これまで喜劇作家を自認してきた三谷だが、大河ドラマ『真田丸』の執筆を経て、立ち位置は変わらずとも、心情には若干の変化がおとずれたと聞く。さらに深化する三谷の舞台。その本番が、今から楽しみだ。

文：佐藤さくら(ライター)

## 「ハムレット」

4月9日(日)～28日(金)※プレビュー公演 4月7日(金)・8日(土) プレイハウス

詳細はHPへ



### 世界的名匠が豪華精鋭キャストと挑むシェイクスピア劇

チラシを見せるとみんな異口同音に「すごい!」と言う。居並ぶ役者名を見てびっくりする。綺羅星の如くとはこのことだ。ジョン・ケアード演出、内野聖陽主演の『ハムレット』である。

15歳の時にジョンさんは、2歳下の弟さんと一緒に毎朝5時起床、シェイクスピア劇を1日1本37日連続で音読するという快挙を成し遂げた。12歳の時には通っていた男子校で『オセロ』のデズデモナを演じたという。ジョンさんのシェイクスピアおたくは筋金入りなのだ。私は『夏の夜の夢』『十二夜』に続き、この『ハムレット』にも翻訳者として参加、また彼の深く鋭い読みによって度々目を開かれると思うとワクワクする。しかも今回はキャスト数がわずか14名。名前のある登場人物や、墓掘りのように無名でも重要な人物を合わせると30名近いのに。つまりダブル、トリプルの配役が予想されるわけで、スリリングこのうえない。ところで『レ・ミゼラブル』のオリジナル演出でも有名なジョンさんのミュージカルやオペラの演出家としての手腕は折り紙付き。戯曲を洞察する知力に加え、視覚と聴覚に訴える表現力の持ち主でもあるということだ。さあ、どんな『ハムレット』が立ち現れるか！

文：松岡和子(翻訳家・演劇評論家)

作：ウィリアム・シェイクスピア 訳：松岡和子 演出：ジョン・ケアード 音楽・演奏：藤原道山

出演：内野聖陽／貫地谷しほり／北村有起哉／加藤和樹  
山口馬木也／今拓哉／大重わたる・村岡哲至・内堀律子・深尾由真  
壤晴彦／村井國夫／浅野ゆう子／國村隼

チケット発売：1月14日(土)

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 芸劇dance ローザス「ファーズーFase」／ローザス&イクトゥス「時の渦ーVortex Temporum」

「ファーズ」5月2日(火)・3日(水・祝)／「時の渦」5月5日(金・祝)・6日(土)・7日(日) プレイハウス

詳細はHPへ

### 待望の再来日。新旧2作品、連続上演



ローザス  
「ファーズーFase」  
振付：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル  
出演：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル  
ほか  
音楽：スティーヴ・ライヒ(録音)



ローザス&イクトゥス  
「時の渦ーVortex Temporum」日本初演  
振付：アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル  
出演：ローザス・ダンサーズ  
音楽：ジェラルド・グリゼイ「時の渦」(Vortex Temporum)  
演奏：アンサンブル・イクトゥス(生演奏)

※両作品とも愛知公演あり。 **チケット発売：2月11日(土・祝)**

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）



# 芸劇ウインド・オーケストラ 第3回演奏会

指揮：鈴木優人

## 多才な音楽家が導く 吹奏楽の新境地

若手の精鋭集う芸劇ウインド・オーケストラの第3回演奏会の指揮は、多才な活動が際立つ鈴木優人。  
彼に公演への意気込みやプログラムの注目点を聞いた。

### 若い奏者の可能性と吹奏楽の色彩を追求する

バロックから現代音楽まで幅広いジャンルに精通し、指揮者やオルガニストとして活躍する鈴木が芸劇ウインドを振るのは、2015年11月の「東京芸術劇場 開館25周年記念公演」以来2度目となる。

「前回は、リハーサルを重ねるごとに予想以上の変化を遂げ、彼らの可能性の大きさを実感しました。ほぼ全員が息を使うウインド・オーケストラは、息を出す体温が演奏に影響します。その意味でたぎる熱気の片鱗を見ました。ただ今回は3部ある公演の1部のみの出演。もっと色々な側面があり、また彼らの中にも多様な可能性への欲求があると思います。今回はそれを信じて、より濃密な演奏を目指したいですね」

前回とは違ったフルサイズの公演である点は大きい。

「オルガニストとして心がけているのは、モノクロームな演奏にならないようにすること。オルガンはメカニックなので、ただ音が出ているだけの演奏になりがちですが、吹奏楽も同じような気がします。「吹奏楽」という1つの色ではなく、沢山の色彩や景色や模様のある演奏会をするのが、今回の目標。ハードルは高いので、心してかかりたいと思っています」

### 鈴木木の個性を反映した類のないプログラム

プログラムは3つの視点で構成されている。まずは鈴木木の活動の主軸をなすバロック音楽。

「ここではパイプオルガンと吹奏楽の繋がりを試したい。開幕のファンファーレ的な『水上の音楽』の1曲に続いて、芸劇ウインドのためにアレンジしたバッハの『パッサカリアとフーガ』を、オルガンの響きを意識しながら演奏し、ホールにあるパイプオルガンのDNAを芸劇ウインドにインストールしたいと考えました」

2つ目は、モーツァルトとR.シュトラウスの管楽器のためのセレナード。

「大作曲家が管楽器のために書いたオリジナル作品で、独自の響きやソロの音色を聴いて頂きます。長いモーツァルト作品は、開始と最終楽章に天国的なアダージョの第3楽章を挟みます。モーツァルトの語法は多彩で、例えばスタッカート1つとっても様々な種類がありますから、その“しゃべり方”がポイント。



2月25日(土) 15:00開演 コンサートホール

指揮：鈴木優人 吹奏楽：芸劇ウインド・オーケストラ

ヘンデル(鈴木優人編)／水上の音楽より「アラ・ホーンパイプ」 J.S.バッハ(鈴木優人編)／パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582  
モーツァルト／セレナード第10番 変ロ長調「グラン・パルティータ」より(1、3、7楽章) R.シュトラウス／13管楽器のためのセレナード  
新垣隆／委嘱作品(世界初演) ラヴェル(真島俊夫編)／バレエ音楽「ダフニスとクロエ」第2組曲

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

### 鈴木優人×新垣隆による事前レクチャー開催！

2月6日(月) 19:00～21:00 東京芸術劇場シンフォニースペース(5階)

参加費：500円(公演チケット購入者無料)※定員100名/先着順 申し込み詳細はHPをご覧ください。



鈴木優人

©Marco Borggreve

シュトラウスのセレナードは、とろけてしまいそうなほど美しい作品です」

3つ目は、今回の目玉でもある新垣隆の新曲(世界初演)とラヴェルの『ダフニスとクロエ』第2組曲。

「20世紀以降の実験的な響きのセクションです。新垣さんは、私が設立したアンサンブル・ジェネシスのレジデントコンポーザーで、2005年から一緒にしています。シンプルながらも巧みな書法で作曲されますので、楽しい作品ができるのを楽しみにしていますし、一方では思いの丈をぶつけた実験的な音楽を期待してもいます。『ダフニスとクロエ』は、吹奏楽で1番人気のクラシック作品である点に興味をそそられ、また緻密な書法が新垣さんのフランス的な技法とのコラボに相応しいと考えて選びました。今回は亡き真島俊夫さんの編曲版を用いる予定。E♭クラリネットの活躍が特徴的な、シンプルかつ明快なアレンジで、若々しい演奏に向いていると思います」

芸劇ウインドは東京芸術劇場が取り組む、次世代のプロフェッショナル音楽家育成プロジェクトでもある。

「演奏レッスンやキャリアアップゼミなどを含めて3年目ともなれば、元々優れたメンバーたちがさらにブラッシュアップしているはず。今回はお客さんにとって魅力的なものを一生懸命考えたプログラムですから、一人でも多くの人に聴いて欲しいと願っています」

取材・文：柴田克彦(音楽評論家)



©NEUES AKKORD

#### 新作委嘱 新垣隆(作曲家・ピアニスト)

鈴木優人さんと私との関係は——これはあまり知られていないかも、と思うのですが(って別にあやしい事ではありません…)——彼の主宰する、古楽から現代に至るあらゆるスタイルの音楽を楽々と渡り歩くアンサンブル・ジェネシスというグループの「専属作曲家」でありました。一方で、吹奏楽作品の作曲は——これは言いにくい事なのですが(というの、つまり、ちょっとあやしい事です…)——何度か経験があります。という事で、今回のこの「自分にとって奇妙に振れたふたつの再会」は、鈴木さんがオルガン奏者であるという事でこれまた奇妙に話が収まってしまうという……ってひとりでごちゃごちゃに言ってんだかさっぱりわからない話ですね。すみません。何はともあれ(?)、今回鈴木さん、そして芸劇ウインドの皆さんと御一緒に出来ることを心待ちにしています。音楽のエネルギーで火花を散らしましょう！読者の皆様もご期待ください！

## エリアフ・インバル指揮 ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

## エサ=ペッカ・サロネン指揮 フィルハーモニア管弦楽団

## これぞ極めつきの コンビによる 名演を聴く！

ベルリン、そして、ロンドンから。

激戦区で、独自の存在感を

発揮しているオーケストラと名指揮者+名手たちが  
つくり出す、すばらしい音楽の世界へ。

### 円熟の巨匠インバルによるマーラー。

### これぞ極めつきの名演にじっくりと接したい。

有力オーケストラがひしめくベルリンの地で独自の存在感を発揮しているベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団が創設されたのは、1952年のこと。当初は、ベルリン交響楽団の名で活動したが、日本語でベルリン響という表記の楽団は、旧西ベルリンにもあったため、こちらは、旧東ベルリンのというよりも、あの名匠クルト・ザンデルリンクの手兵として親しまれてきたオーケストラである。ザンデルリンクの時代(1960～77年)は、音楽に対する献身的な姿勢とドイツ儀儀の渋さを兼ね備えた楽団として高く評価されていたが、2006年に現在の名称となり、さらにアンサンブルの洗練度を増しているのが印象的。コンサートマスターを務めている日下紗矢子にインタヴューした際にも、オーケストラが培ってきた響きを大切にしながら、より精度の高い音楽づくりを目指していることが実感できた。

指揮者のエリアフ・インバルは、イスラエル生まれ。1980年代からマーラーのスペシャリストとして名高いが、2016年に80歳を迎えても、枯れることなく、つねに刺激的なアプローチを繰り返している巨匠である。2001～06年には、このオーケストラの首席指揮者を務めており、勝手知ったる間柄である上に、今回のメインの演目であるマーラーの交響曲第1番《巨人》は、スコアの隅々まで知り尽くしている楽曲だけに、聴き手が想像している以上の“なにか(「感動」とか「衝撃」といった単語を当てはめていただきたいと思う)”が起こるに違いない。名曲中の名曲であるメンデルスゾーンの協奏曲では、五嶋龍がソリストを務めるのも楽しみである。

### オ気あふれるサロネンと手兵のコンビ。

### オーケストラの醍醐味を丸ごと味わいたい。

ベルリンや東京にも負けず劣らず、オーケストラの激戦区であるロンドンで、華々しい活動を繰り返しているフィルハーモニア管弦楽団の歴史は、1945年に遡ることができる。旧EMI(現ワーナー・クラシックス)の伝説的なプロデューサーであったウォルター・レグが、イギリス中の名手を集めて創設した楽団は、レコーディングはもちろん、コンサートでも、たちまち大評判となった。フルトヴェングラー、R.シュトラウス、トスカニーニらが指揮台にの



指揮：エリアフ・インバル



ヴァイオリン：五嶋龍



指揮：エサ=ペッカ・サロネン



ヴァイオリン：諏訪内晶子

©Ayako Yamamoto

ぼり、カラヤンが実質的な首席指揮者の役割を果たした後、クレンペラーが常任指揮者(後に終身指揮者)を務め、以後、ムーティ、シノーポリ、ドホナーニが率いた時代を経て、2008年からは、エサ=ペッカ・サロネンが首席指揮者を務めている。その鮮やかなアンサンブルに裏打ちされたフレキシブルなサウンドで、まるで個性の異なる指揮者たちの意図を体現した名演は、数多くのディスクからもうかがい知ることができる。

首席指揮者のサロネンは、フィンランド生まれ。当初、作曲家として世に出た後、1983年にフィルハーモニア管弦楽団の公演で、キャンセルしたティルソン・トーマスの代役として、急速、マーラーの交響曲第3番を振り、大成功を収めて以来、指揮者としての本格的なキャリアをスタートさせた経歴の持ち主だ。そして、現在も、ニューヨーク・フィルのコンポーザー・イン・レジデンス(常駐作曲家)として、作曲家として旺盛な活動を繰り返している。R.シュトラウスも、存命中は、作曲家としてだけでなく、指揮者として名声を博した人物だけに、今回の演目である《ドン・ファン》や《ツァラトゥストラはかく語りき》のスコアから、現代を代表するコンポーザー=コンダクター(作曲家兼指揮者)であるサロネンが、鮮やかな響きを引き出してくれることだろう。メンデルスゾーンの人気作でソリストを務めるのは、サロネンのヴァイオリン協奏曲もレパートリーに入れている諏訪内晶子であり、こちらも大いに期待したいところである。

文：満岡信育(音楽評論)

エリアフ・インバル指揮 ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

詳細はP14へ

3月21日(火) 19:00 開演 コンサートホール

指揮：エリアフ・インバル

ヴァイオリン：五嶋龍

管弦楽：ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団

メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲 ハ短調 op.64

マーラー／交響曲第1番 二長調《巨人》

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／日本経済新聞社／ジャパン・アーツ

エサ=ペッカ・サロネン指揮 フィルハーモニア管弦楽団

詳細はHPへ

5月20日(土) 18:00 開演 コンサートホール

指揮：エサ=ペッカ・サロネン

ヴァイオリン：諏訪内晶子

管弦楽：フィルハーモニア管弦楽団

R.シュトラウス／交響詩『ドン・ファン』op.20

メンデルスゾーン／ヴァイオリン交響曲 ホ長調 op.64

R.シュトラウス／交響詩『ツァラトゥストラはかく語りき』op.30

主催：ジャパン・アーツ 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



©Marco Borggreve





# ボンクリ・フェス2017

## “Born Creative” Festival 2017

アーティストック・ディレクター：藤倉大（作曲家）

## 世界中の「新しい音」が聴ける 1dayフェス！

世界的に活躍する作曲家 藤倉大のボーン・クリエイティヴな  
感性が異ジャンルの音楽をシャッフル！  
東京芸術劇場で「世界中の新しい響き」の体験を！

### 「ボーン・クリエイティヴ」、略して「ボンクリ」。

これは、「人間は皆、生まれつきクリエイティヴだ」という意味。  
数年前から僕がやっている福島県相馬市での作曲教室では、5歳から高校生までを対象に、世界から現代音楽のエキスパートの演奏家を迎えて特殊技法等をみっちり紹介し、その場で子供達が新しい音楽の作曲をする。さらに全ての音や指示を楽譜にきちんと記し、作曲した作品はその場でプロの演奏家に演奏してもらう。子供達の作曲中、演奏家は、子供達が作品の一部を確認したり、コラボレーションしながら作曲のアイデアを楽譜にするためのサポートをし、直ぐに試演できるスペシャルな環境を作っている。  
この作曲教室を何年か継続していてわかったことは、全ての人間は子供の頃、「新しい音楽」「新しい音」、そして5歳の子供の言葉を借りると「変な音」が好きだということだ。

だが、なぜかそのクリエイティヴィティは成長するにつれ、失われていく。  
5月4日に開催するこの「ボンクリ・フェス」は、大人になっても5歳の子供のように、クリエイティヴでいる人達の作品を、0歳の子供から大人まで楽しめる新しい音楽に触れるためのイベント。演奏家と共に参加し、一緒に音楽を作るワークショップもあり、即興音楽もあり、日本の伝統音楽である雅楽も、エレクトロニクス（電子音楽）も、現代音楽アンサンブルもあり、ペルー音楽も、オーケストラ作品もある。丸1日、東京芸術劇場館内に「新しい音楽」が満ち溢れる。

できるだけ多くの人に「新しい音楽」に触れて貰おうと、夜のスペシャル・コンサートのチケット価格は抑え、チケットがあれば、昼間のワークショップも無料で楽しめる。また、誰でも楽しめるアトリウムコンサートも開催するなど様々なイベントを行い、ジャンルを超えた「新しい音楽」に満ちた1日になる。

館内にはレストランなどもあるので、ゴールデンウィークのさなか、東京芸術劇場で1日中過ごすこともできる。一生分、少なくとも1年分の「世界中の新しい響き」を堪能することができるまたとない機会。5月4日は是非芸術へ！

文：藤倉大（作曲家）



藤倉大

©Seiji Okumura

## “Born Creative” Festival 2017

5月4日（木・祝） アーティストック・ディレクター：藤倉大

### ■スペシャル・コンサートのチケットで無料！ワークショップ

笹久保伸による『ペルー音楽の部屋』／ ※各ワークショップ定員あり  
檜垣智也による『リュック・フェラーリの部屋』／  
ヤン・バング&ニルス・ペッター・モルヴェルによる『ノルウェーの部屋』／  
クレア・チェイスによる『ポーリン・オリヴェロスの部屋』 ほか

### ■誰でも楽しめる！無料アトリウムコンサート

出演：伶楽舎（雅楽アンサンブル）／福川伸陽（ホルン） ほか

### ■スペシャル・コンサート 17:30開演 コンサートホール

出演：アンサンブル・ノマド（指揮：佐藤紀雄）／伶楽舎／  
クレア・チェイス（フルート）／ヤン・バング（エレクトロニクス）／  
ニルス・ペッター・モルヴェル（トランペット）／  
小林沙羅（ソプラノ）／藤倉大（ピアノ&エレクトロニクス） ほか

料金：S席3,000円／A席2,000円

チケット発売：2月予定

詳細はHPへ

### スペシャル・コンサートの聴きどころ

藤倉大が幼少の頃から毎日のように聴いていた坂本龍一の名曲（thatness and thereness）を、藤倉が愛情を込めてオーケストレーションしたアンサンブル版の世界初演に加え、坂本の最新作〈3つのトライアングルのための作品〉のライブ版世界初演。大友良英の書き下ろし委嘱作品の世界初演、藤倉が人生で初めて聴いた現代音楽作曲家である武満徹の雅楽作品《秋庭歌一具》より〈秋庭歌〉、デヴィッド・シルヴィアンと藤倉との共同作曲が話題を生んだCDアルバム“died in the wool”からは小林沙羅による独唱でライブ版世界初演。ノルウェーのヤン・バングとニルス・ペッター・モルヴェルと藤倉による即興演奏、そしてクレア・チェイスをソリストに迎えての藤倉の〈フルート協奏曲〉など、脳内を刺激するまさに「ボンクリ」音楽が一夜に集結！

※ワークショップやコンサートの出演者、内容、曲目等は変更になる場合があります。

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）



坂本龍一

大友良英

武満徹

デヴィッド・シルヴィアン

小林沙羅

©Nippon Columbia

ヤン・バング

ペッター・モルヴェル

©Peder Otto Dybbil

クレア・チェイス

©David Michalek

## 東京芸術劇場Presents クラシカル・プレイヤーズ東京演奏会

3月5日（日）15:00開演 コンサートホール

詳細はP13へ



有田正広

テウニス・ファン・デル・ズヴァルト

©Hikaru.S

指揮：有田正広 ナチュラルホルン：テウニス・ファン・デル・ズヴァルト 管弦楽：クラシカル・プレイヤーズ東京

ベートーヴェン／交響曲第1番 ハ長調 op.21、交響曲第2番 ニ長調 op.36 モーツァルト／ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 K.495

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

## 東京芸術劇場 & ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画 第6回音楽大学フェスティバル・オーケストラ

3月25日（土）15:00開演 ミューザ川崎シンフォニーホール／3月26日（日）15:00開演 コンサートホール 詳細はP14へ

### 感動の予感！大編成の難曲に挑む音大選抜オーケストラ

首都圏9音大のフェスティバル企画には2本の柱がある。秋に行われる複数大学競演形式のものと、今回ご紹介する春の「合同オケ」だ。毎年9月になるとオーケストラのメンバーを決める会議が開かれる。各大学とも優秀な学生に参加させようと熱い編成会議となる。練習会場は毎年各大学持ち回りで施設を提供しあって協力。楽譜準備や設営を担うのはマネジメント系学生チーム。実行委員の先生指導のもと、弦楽器のパート譜へのボウイング付け作業などもこなす。そして演奏会当日。2日間にわたり客席形式や響き具合などが異なるホールで演奏に臨む。今回は熊本地震で被災した九州の2音大の学生4名も特別参加。復興への思いを演奏に込める。曲はドビュッシーとマーラーの難曲。特にマーラーの6番は高関マエストロが再校訂した楽譜を使用。音大生たちの高密度な熟演が楽しみだ。

文：吉田雅之

指揮：高関健 管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ（首都圏9音楽大学+九州2音楽大学選抜オーケストラ）

参加音楽大学：上野学園大学／国立音楽大学／昭和音楽大学／洗足学園音楽大学／東京音楽大学／東京藝術大学／東邦音楽大学／桐朋学園大学／武蔵野音楽大学／平成音楽大学（熊本）／大分県立芸術文化短期大学（大分）

主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会／

東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）／

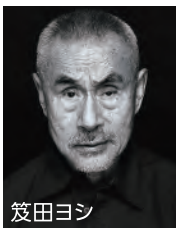
ミューザ川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）

ドビュッシー／交響詩「海」 マーラー／交響曲第6番 イ短調「悲劇的」

## 東京芸術劇場シアターオペラvol.10 全国共同制作プロジェクト プッチーニ／歌劇『蝶々夫人』《新演出》全幕

2月18日（土）・19日（日）14:00開演 コンサートホール 日本語字幕付原語上演

詳細はP11へ



笈田ヨシ

### 世界的演劇人 笈田ヨシ、待望の本邦初オペラ演出！

指揮：ミハエル・バルケ 演出：笈田ヨシ

出演：蝶々夫人：小川里美（18日）・中嶋彰子（19日）／スズキ：鳥木弥生／ケイト・ピンカートン：サラ・マクドナルド／

ピンカートン：ロレンツォ・デカロー／シャープレス：ピーター・サヴィッジ／ゴロー：晴雅彦／ヤマドリ：牧川修一／ボンゾ：清水那由太／

役人：猿谷友規／いとこ：熊田祥子／管弦楽：読売日本交響楽団／合唱：東京音楽大学 ほか

※金沢、大阪、高崎公演あり

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団） 事業提携：読売日本交響楽団 共同制作：公益財団法人金沢芸術創造財団／関西テレビ放送／フェスティバルホール（朝日ビルディング）／公益財団法人高崎財団

公益財団法人石川県音楽文化振興事業団／公益財団法人大阪フィルハーモニー協会／公益財団法人群馬交響楽団

## 芸劇 & 読響 0才から聴こう!!／4才から聴こう!! 春休みコンサート

3月29日（水）11:30開演（0才から入場可）／13:30開演（4才以上対象） コンサートホール 各回入替制

詳細はP14へ



円光寺雅彦



山下牧子

### 世代をこえて楽しめる、50分間の本格派コンサート

指揮：円光寺雅彦 メゾ・ソプラノ：山下牧子 管弦楽：読売日本交響楽団 ほか（構成：吉田雅之）

ビゼー／歌劇「カルメン」から ハバネラ「恋は野の鳥」

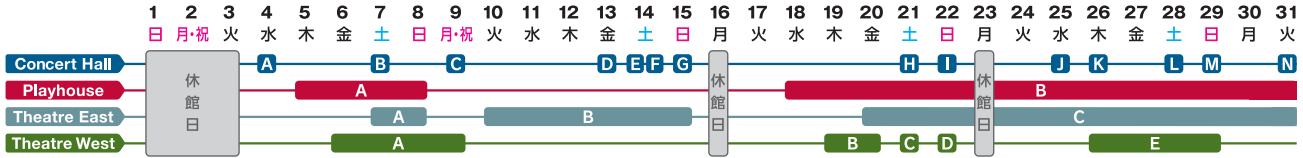
チャイコフスキー／バレエ「白鳥の湖」から「四羽の白鳥の踊り」

スッペ／喜歌劇「軽騎兵」序曲 ほか

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団） 事業提携：読売日本交響楽団



1 JAN



Concert Hall 音源略号:指揮(Cond)ノソプラノ(S)ノメソソプラノ(Ms)ノアルト(A)ノテノール(T)ノバリトン(Bn)ノバス(Bs)ノコーラス(Chor)ノピアノ(Pf)ノチェンバロ(Cemb)ノオルガン(Org)ノヴァイオリン(Vn)ノヴィオラ(Va)ノチェロ(Vc)ノコントラバス(Cb)ノハープ(Hp)ノフルート(F)ノクラリネット(Cl)ノオーボエ(Ob)ノファゴット(Fg)ノサクソフォーン(Sax)ノホルン(Hr)ノトランペット(Tp)ノトロンボーン(Tb)ノチューバ(Tub)ノユーフォニアム(Euph)ノティンパニ(Timp)ノキーボード(Key)

**A** 4日(水) 14:00開演

神奈川大学吹奏楽部 第52回定期演奏会  
&“Applause to 真島俊夫”  
真島俊夫メモリアルコンサート

出演 小澤俊朗(Cond)ノ神奈川大学吹奏楽部  
曲目 真島俊夫ノ大樹の歌=マリンバとバンドの為の協奏曲  
大栗裕ノ大阪俗謡による幻想曲(客演指揮:丸谷明夫)  
J.マッキーノ交響曲「ワインダーク・シー」ほか  
料金 前売…SS:4,000円ノS:3,200円ノA:2,400円ノB:1,600円  
当日…SS:5,000円ノS:4,000円ノA:3,000円ノB:2,000円  
問合せ 神奈川大学吹奏楽部 045-481-2989

**B** 7日(土) 14:00開演

2017ニューイヤーコンサート HUE(ヒュー)

出演 HUE(ヒュー)  
曲目 Time to say good bye  
You raise me up  
花は咲く ほか  
料金 SS:5,400円ノS:4,300円ノA:3,200円 (当日+500円)  
問合せ 東京第一友の会 03-3971-9602

**C** 9日(月・祝) Closed・関係者のみ

2017年としま「成人の日のつどい」

**D** 13日(金) 19:00開演

2017都民芸術フェスティバル参加公演  
日本フィルハーモニー交響楽団

出演 角田鋼亮(Cond)ノ居福健太郎(Pf)ノ日本フィルハーモニー交響楽団  
曲目 モーツァルトノ歌劇「フィガロの結婚」<序曲>  
ラフマニノフノピアノ協奏曲第2番  
ベートーヴェンノ交響曲第5番「運命」  
料金 A:3,800円ノB:2,800円ノC:1,800円ノ学生A:3,000円ノ学生B:2,200円ノ学生C:1,400円  
問合せ 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**E** 14日(土) 13:00開演

豊島区管弦楽団ニューイヤーコンサート

出演 和田一樹(Cond)ノ富永愛子(Pf)ノ豊島区管弦楽団  
曲目 ガーシュウィンノラプソディ・イン・ブルー  
J.シチュラウスIIノ美しく青きドナウ、春の声 ほか  
料金 前売:1,000円ノ当日:1,200円ノ中学生以下:無料(要予約)ノ管弦・吹奏セット券前売:1,500円ノ管弦・吹奏セット券当日:1,800円  
としまチケットセンター 03-5391-0516

**F** 14日(土) 18:30開演

豊島区吹奏楽団ニューイヤーコンサート

出演 大釜宏之(Cond)ノ豊島区吹奏楽団  
曲目 羽田健太郎ノ渡る世間は鬼ばかり  
池瀬広ノ「相棒」のテーマ  
真島俊夫ノ三つのジャポニスム ほか  
料金 前売:1,000円ノ当日:1,200円ノ中学生以下:無料(要予約)ノ管弦・吹奏セット券前売:1,500円ノ管弦・吹奏セット券当日:1,800円  
としまチケットセンター 03-5391-0516

**G** 15日(日) 14:00開演

ANAフィルハーモニー管弦楽団  
第2回定期演奏会

出演 齋藤純一郎(Cond)ノ翠千賀(S)ノ磯地美樹(A)ノ松村英行(T)ノ数内俊也(Bs)ノ大田区民第九合唱団ノANAフィルハーモニー管弦楽団  
曲目 プラームスノ大学祝典序曲  
ベートーヴェンノ交響曲第9番「合唱付」  
料金 【全席指定】1,000円  
問合せ ANAフィルハーモニー管弦楽団 090-3161-1297

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

東京芸術劇場  
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く  
10:00〜19:00

※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

休館日 | 1日(日)~3日(火)・16日(月)・23日(月)  
東京芸術劇場ホームページ [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)  
※原則未就学児のご入場はお断りしています。

**J** 25日(水) 19:00開演

うないぐみ&東京ニューシティ管弦楽団  
島うたシンフォニック・コンサート

演出・構成 佐原一哉  
出演 和田一樹(Cond)ノうないぐみ(古謝美佐子、宮里奈美子、比屋根幸乃、島袋恵美子)ノ城南海(ゲスト)ノ佐原一哉(Key)ノ東京ニューシティ管弦楽団  
曲目 童神(天の子守唄)  
家路(ドヴォルザーク作曲 交響曲第9番「新世界より」から)  
花  
アメijing・グレイス  
安里屋ユンタ  
黄金の花 ほか  
料金 S:6,500円ノA:5,000円ノ学生:1,000円  
問合せ Ro-Onチケット 047-365-9960

**K** 26日(木) 14:00開演

パイプオルガン講座2016 第66回  
一音のレシビのひみつー 第2回 ヴェルサイユのオルガニストたち

出演 講師:川越聡子(東京芸術劇場副オルガニスト)  
副講師:平井靖子(東京芸術劇場副オルガニスト)  
マテュー・ガルニエ(オルガンビルダー)  
料金 1,000円(定員60名)  
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**L** 28日(土) 14:00開演

東京佼成ウインドオーケストラ  
第132回定期演奏会

出演 シズオ・Z・クワハラ(Cond)ノ東京佼成ウインドオーケストラ  
曲目 コリリアーノノ交響曲第3番「キルクス・マクシムス」  
レスピーギ(伊藤康英編)ノリュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲  
レスピーギ(鈴木英史編)ノ交響詩「ローマの松」  
料金 S:6,000円ノA:4,500円ノB:3,500円ノC:1,000円  
問合せ TKWOチケットサービス 0120-692-556

**M** 29日(日) 14:00開演

新交響楽団 第236回演奏会

出演 矢崎彦太郎(Cond)ノ新交響楽団  
曲目 ドビュッシーノ牧神の午後への前奏曲、バレエ音楽「遊戯」  
ストラヴィンスキーノバレエ音楽「火の鳥」全曲版  
料金 S:3,000円ノA:2,500円ノB:1,500円  
問合せ コンサートイマジン 03-3235-3777

**N** 31日(火) Closed・関係者のみ

板橋区立中学校オーケストラ鑑賞教室

Playhouse

**A** 5日(木)~8日(日)

東京グランド花月

料金 【全席指定】1階席:5,500円ノ2階席:4,500円(当日+500円)  
特別公演…1階席:4,000円ノ2階席:3,500円(当日+500円)  
問合せ チケットよしもとお問い合わせ 0570-550-100

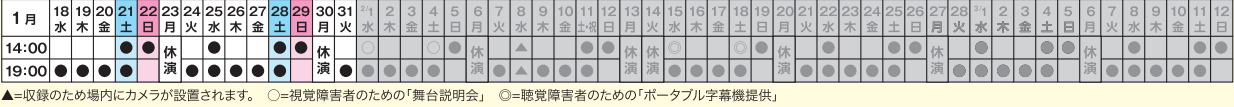
1月	5木	6金	7土	8日
11:00	●	●	●	●
15:00	●	●	●	●
19:00	★	●	●	●

★=特別公演 福笑い寄席

**B** 18日(水)~3月12日(日)

NODA・MAP 第21回公演「足跡姫~時代錯誤冬幽霊~」

作・演出 野田秀樹  
出演 宮沢りえノ妻夫木聡ノ古田新太ノ佐藤隆太ノ鈴木杏ノ池谷のぶえノ中村扇雀ノ野田秀樹 ほか  
料金 S:9,800円ノA:7,800円ノサイドシート:5,500円※ノ高校生割引:1,000円(事前申込制、要学生証) ※25歳以下の方は、東京芸術劇場ボックスオフィスでのみサイドシート3,000円にてご購入いただけます。(入場時要証明書)  
問合せ NODA・MAP 03-6802-6681



▲=収録のため場内にカメラが設置されます。 ○=視覚障害者のための「舞台説明会」 ◎=聴覚障害者のための「ボータブル字幕機提供」

Theatre East

**A** 7日(土)・8日(日)

「peeeeeep」~踊る小説2~

原作 江戸川乱歩「屋根裏の散歩者」より  
振付・構成・演出 スズキ拓朗  
料金 【全席自由】一般:3,500円ノ大学生:2,500円ノ高校生以下:1,500円  
当日…一般:5,500円ノ大学・専門学校生:4,000円ノ高校生以下:3,000円  
問合せ チャイロイブリン 080-3124-7210

1月	7土	8日
13:00	●	●
15:00	●	●
17:00	●	●
19:00	●	●

**B** 10日(火)~15日(日)

コンドルス20周年記念  
「20th Century Toy - TOKYO」

構成・映像・振付 近藤良平  
料金 【全席指定】前売…一般:5,000円ノ大学・専門学校生:3,500円ノ高校生以下:2,500円  
当日…一般:5,500円ノ大学・専門学校生:4,000円ノ高校生以下:3,000円  
問合せ ROCK STAR 03-5272-0991

1月	10火	11水	12木	13金	14土	15日
13:00					●	●
17:00					●	●
19:30	●	●	●	●	●	●

**C** 20日(金)~2月12日(日)

2017都民芸術フェスティバル参加公演  
二兎社公演「ザ・空気」

作・演出 永井愛  
出演 田中哲司ノ若村麻由美ノ江口のりこノ大窪人衛ノ木場勝己  
料金 【全席指定】一般:5,600円ノ25歳以下:3,000円ノ高校生以下割引:1,000円  
問合せ 二兎社 03-3991-8872



Theatre West

**A** 6日(金)~9日(月・祝)

立花座第二回公演  
「幸福のとき」

作・演出 立花里美  
料金 【全席自由】前売:3,000円ノ当日:3,500円ノペアチケット:5,000円ノ学割:2,000円  
問合せ 「幸福のとき」上演実行委員会 0466-28-6400

1月	6金	7土	8日	9月・祝
11:00		●	●	●
13:00	●	●	●	●
15:00	●	●	●	●
18:30	●	●	●	●

**B** 19日(木)・20日(金)

五十田安希ひとり芝居  
「オフィーリア幻想」

料金 【全席指定】5,000円  
問合せ 五十田安希事務所 090-4416-0184

**C** 21日(土) 16:00開演

第10回 六味唐辛子こんさあと  
一人間努力の空しさの唄ー

出演 井関真人ノ岡本正之ノ河田黎ノ金原亭馬治ノ白坂道子ノ土岐能子  
料金 【全席自由】6,000円  
問合せ 六味唐辛子 080-1061-4233

1月	19木	20金
14:00	●	●
19:00	●	●

**D** 22日(日) 14:00開演

第29回リリカル・スウィングジャズ  
オーケストラ定期公演

料金 【全席自由】1,000円  
問合せ リリカル・スウィングジャズオーケストラ 090-3206-4818

**E** 26日(木)~29日(日)

「マクベス」

脚本 W.シェイクスピア  
演出 木村龍之介  
出演 河内大和ノ真以美ノ穂高ノ岩崎MARK雄大ノ大津留彬弘(以上カクシンハン) ほか  
料金 【全席指定】前売:5,000円ノ当日:5,500円ノU22(限定):4,200円ノ公開ゲネ:3,600円 ほか  
問合せ カクシンハン制作部 070-6634-2593





2  
FEB



Concert Hall

音楽略号:指揮(Cond)ノソプラノ(S)ノメソソプラノ(Ms)ノアルト(A)ノテノール(T)ノバリトン(Br)ノバス(Bs)ノコーラス(Chor)ノピアノ(Pf)ノチェンバロ(Cemb)ノオルガン(Org)ノヴァイオリン(Vn)ノヴィオラ(Va)ノチェロ(Vc)ノ

**A** 1日(水) 19:00開演 BOX

2017都民芸術フェスティバル参加公演  
**NHK交響楽団**

出演 高関健(Cond)ノ青木尚佳(Vn)ノNHK交響楽団

曲目 ショスタコーヴィチノバレエ組曲第1番  
プロコフィエフノヴァイオリン協奏曲第2番  
チャイコフスキーノ交響曲第4番

料金 A:3,800円ノB:2,800円ノC:1,800円ノ  
学生A:3,000円ノ学生B:2,200円ノ学生C:1,400円

問合せ 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**B** 4日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
**第194回土曜マチネーシリーズ**

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)ノシモーネ・ラムスマ(Vn)ノ  
読売日本交響楽団

曲目 チャイコフスキーノヴァイオリン協奏曲  
交響曲第5番

料金 S:7,500円ノA:5,500円ノB:4,500円ノC:3,500円

問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

**C** 5日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団  
**第194回日曜マチネーシリーズ**

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)ノシモーネ・ラムスマ(Vn)ノ  
読売日本交響楽団

曲目 チャイコフスキーノヴァイオリン協奏曲  
交響曲第5番

料金 S:7,500円ノA:5,500円ノB:4,500円ノC:3,500円

問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

※開場中、ステージ上にて芸術ジュニア・アンサンブル・アカデミー発表会を開催

Playhouse

**A** ~3月12日(日) BOX

NODA・MAP 第21回公演「足跡姫~時代錯誤冬幽霊~」

※P10参照

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12										
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
14:00	○			○	●	休		▲		●	●	休	●	休	●		●	●	休		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

▲=収録のため場内にカメラが設置されます。  
○=視覚障害者のための「舞台説明会」  
●=聴覚障害者のための「ボータブル字幕機提供」

Theatre East

**A** ~12日(日) BOX

2017都民芸術フェスティバル参加公演  
**二兎社公演「ザ・空気」**

作・演出 永井愛 出演 田中哲司ノ若村麻由美ノ江口のりこノ大窪人衛ノ木場勝己

料金 【全席指定】一般:5,600円ノ25歳以下:3,000円ノ高校生以下割引:1,000円

問合せ 二兎社 03-3991-8872

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00	●	●		●	●	休		●	●	●	●	●
19:00	●		●	●	●	休		●	●	●	●	●

Theatre West

**A** 2日(木)~12日(日)

劇団文化座公演148「命どう宝」

作 杉浦久幸 演出 鶴山仁

出演 佐々木愛ノ有賀ひろみノ藤原章寛 ほか

料金 【全席指定】一般:5,500円ノUシート(19:00の部のみ):4,000円ノ高校生以下:3,000円

問合せ 劇団文化座 03-3828-2216

2月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00	★	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●				●	●	●	※			

★=アフタートークあり  
○=貸切公演  
※=追加公演

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)

東京芸術劇場  
ボックスオフィス **0570-010-296** 休館日を除く  
10:00~19:00

※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

休館日 | 13日(月)・20日(月)

東京芸術劇場ホームページ [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)

※原則未就学児のご入場はお断りしています。

コントラバス(Cb)ノハーブ(Hp)ノフルート(F)ノクラリネット(Cl)ノオーボエ(Ob)ノファゴット(Fg)ノサクソフォーン(Sax)ノホルン(Hr)ノトランペット(Tp)ノトロンボーン(Tb)ノチューバ(Tub)ノユーフォニアム(Euph)ノティンパニ(Timp)

**I** 21日(火) Closed・関係者のみ

第30回中学合唱コンクール

**J** 22日(水) 11:00開演 BOX

芸劇 ブランチ・コンサート  
~清水和音と八塩圭子の名曲ラウンジ~  
第6回 クラリネットは大好き?

出演 清水和音(Pf)ノ八塩圭子(ナビゲーター)ノ伊藤圭(Cl)ノ  
藤江扶紀、大江馨(Vn)ノ鈴木康浩(Va)ノ富岡廉太郎(Vc)

曲目 プラームスノクラリネットノソナタより  
モーツァルトノクラリネット五重奏曲

料金 【全席指定】2,200円

問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

**K** 22日(水) 19:00開演

大阪フィルハーモニー交響楽団  
《創立70周年記念》第50回東京定期演奏会

出演 井上道義(Cond)ノ大阪フィルハーモニー交響楽団

曲目 ショスタコーヴィチノ交響曲第11番「1905年」  
交響曲第12番「1917年」

料金 S:6,000円ノA:5,000円ノB:4,000円ノC:3,000円

問合せ カジモト・イープラス 0570-06-9960

**L** 24日(金) 19:00開演 BOX

2017都民芸術フェスティバル参加公演  
**読売日本交響楽団**

出演 ミヒャエル・バルケ(Cond)ノ  
シャルル・リシャル=アムラン(Pf)ノ読売日本交響楽団

曲目 ウェーバーノ歌劇「魔弾の射手」序曲  
ショパンノピアノ協奏曲第2番  
シューマンノ交響曲第1番「春」

料金 A:3,800円ノB:2,800円ノC:1,800円ノ  
学生A:3,000円ノ学生B:2,200円ノ学生C:1,400円

問合せ 日本演奏連盟事務局 03-3539-5131

**M** 25日(土) 15:00開演 BOX

芸劇ウインド・オーケストラ 第3回演奏会

出演 鈴木優人(Cond)ノ芸劇ウインド・オーケストラ

曲目 ヘンデル(鈴木優人編)ノ水上の音楽より「アラ・ホーンパイプ」  
J.S.バッハ(鈴木優人編)ノパッサカリアとフーガ ハ短調BWV582  
モーツァルトノセレナード第10番「グラン・パルティータ」より  
(1、3、7楽章)  
R.シュトラウスノ13管楽器のためのセレナード  
新垣隆ノ委嘱作品(世界初演)  
ラヴェル(真島俊夫編)ノバレエ音楽「ダフニスとクロエ」第2組曲

料金 【全席自由】2,000円

問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**N** 26日(日) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団 第825回定期演奏会

出演 ダニエーレ・ルスティオーニ(Cond)ノ東京都交響楽団

曲目 デュカスノ交響詩「魔法使いの弟子」  
レスピーギノ交響詩「ローマの噴水」  
ベルリオーズノ幻想交響曲

料金 S:6,500円ノA:5,500円ノB:4,500円ノC:3,500円ノ  
Ex:2,500円

問合せ 都響ガイド 03-3822-0727

**O** 28日(火) 19:00開演

ビティナ創立50周年記念コンサート

出演 岩村力(Cond)ノ伊賀あゆみ、黒田亜樹、赤松林太郎、  
尾崎有飛、佐藤圭孝、梅村知世、阪田知樹、山崎亮汰、  
関本昌平、小原孝(Pf)ノ新見準平(Br)ノ

曲目 モーツァルトノピアノ協奏曲第26番「戴冠式」第1楽章  
ラフマニノフノピアノ協奏曲第2番 第1楽章  
リストノピアノ協奏曲第1番 ほか

料金 S:5,000円ノA:4,500円ノ3階:4,000円

問合せ 全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583







# 1・2・3

## JAN FEB MAR

東京芸術劇場ホームページ [www.geigeki.jp](http://www.geigeki.jp)

Gallery 1 (5F)

5日(木)～8日(日)  
静書会書道展  
問合 高橋 03-3358-4786

13日(金)～15日(日)  
日本書学研究会  
一先会 東京支局展  
問合 荻山 03-3961-2432

25日(水)～30日(月)  
Gallery 1・2 同時開催  
東京都特別支援学校  
第25回総合文化祭展示部門展覧会  
問合 東京都教育庁指導部管理課  
03-5321-1111

3日(金)～7日(火)  
Gallery 1・2 同時開催  
大東文化大学書道部校外展  
問合 光瀬 080-2748-1621

9日(木)～12日(日)  
第24回 臨書と自由書作品展  
ー世界・コロロ・とどけるー  
問合 高橋 03-3371-5123

16日(木)～19日(日)  
玉川大学芸術学部  
第12回卒業プロジェクト作品展2017  
問合 玉川大学芸術学部  
ビジュアル・アーツ学科 042-739-8119

23日(木)～27日(月)  
Gallery 1・2 同時開催  
尚美学園大学卒業制作展  
問合 尚美学園大学 卒展2017実行委員会  
049-246-2700

2日(木)～5日(日)  
Gallery 1・2 同時開催  
第16回 都会の中で見つけた自然  
押花芸術展  
問合 ヲォーク学園東京校内  
ちさと押花倶楽部 03-5261-5085

7日(火)～12日(日)  
Gallery 1・2 同時開催  
いけばな2017 古流松蔭会展  
料金 500円  
問合 古流松蔭会 03-3815-2845

15日(水)～19日(日)  
バスケットリージャパン2017  
問合 神 03-3629-6469

20日(月・祝)～23日(木)  
第30回  
全国シルバー・わかば書道展  
問合 萱原 03-3462-5251

25日(土)～26日(日)  
Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催  
第2回 池袋鉄道模型芸術祭  
料金 500円  
(保護者同伴の小学生以下は無料)  
問合 平井 03-6914-3581

13日(金)～15日(日)  
わよの書展  
問合 うどよし 0800-600-4174

25日(水)～30日(月)  
Gallery 1・2 同時開催  
東京都特別支援学校  
第25回総合文化祭展示部門展覧会  
問合 東京都教育庁指導部管理課  
03-5321-1111

3日(金)～7日(火)  
Gallery 1・2 同時開催  
大東文化大学書道部校外展  
問合 光瀬 080-2748-1621

11日(土・祝)～12日(日)  
べっ甲デザインコンテスト&  
べっ甲加工体験教室  
料金 観覧は無料  
体験教室参加費 1,000円  
問合 塩谷 090-5126-3079

23日(木)～27日(月)  
Gallery 1・2 同時開催  
尚美学園大学卒業制作展  
問合 尚美学園大学 卒展2017実行委員会  
049-246-2700

2日(木)～5日(日)  
Gallery 1・2 同時開催  
第16回 都会の中で見つけた自然  
押花芸術展  
問合 ヲォーク学園東京校内  
ちさと押花倶楽部 03-5261-5085

7日(火)～12日(日)  
Gallery 1・2 同時開催  
いけばな2017 古流松蔭会展  
料金 500円  
問合 古流松蔭会 03-3815-2845

25日(土)～26日(日)  
Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催  
第2回 池袋鉄道模型芸術祭  
料金 500円  
(保護者同伴の小学生以下は無料)  
問合 平井 03-6914-3581

4日(水)～8日(日)  
第1回和田(芳堂)稔個展  
芳堂→稔 Starting Over  
問合 和田 03-3819-8778

24日(火)～30日(月)  
東京朝鮮中高級学校 美術部展  
問合 崔 090-2940-9491

5日(日)～8日(水)  
大東文化大学美術部桐美展  
問合 豊川 090-9643-3395

9日(木)～12日(日)  
ネイチャーズベストフォトグラフィー  
アジア合同企画写真展  
問合 グリーン 090-4230-7683

15日(水)～19日(日)  
「かなと日常の書」  
カルチャー合同展  
問合 津田 090-5204-6559  
03-3195-5674

26日(日)～27日(月)  
華道家元池坊東京橋香会  
支部創立95周年・  
青年部35周年記念花展  
問合 山田 049-261-0428  
080-5006-8245

3日(金)～5日(日)  
Atelier East-West同時開催  
映身展2017  
問合 白杵 080-1774-1194

6日(月)～12日(日)  
第8回「保谷フォトクラブ」  
写真展  
問合 関谷 090-1120-8279

15日(水)～19日(日)  
写真展第11回「向かい風」  
写真展  
問合 古賀 048-853-1140

20日(月・祝)～23日(木)  
第七回雑司が谷  
デジカメクラブ作品展  
問合 上條 03-3918-3282

25日(土)～26日(日)  
Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催  
第2回 池袋鉄道模型芸術祭  
料金 500円  
(保護者同伴の小学生以下は無料)  
問合 平井 03-6914-3581

27日(月)～4月2日(日)  
AZ写真展  
「能楽写真事始めⅡ」  
問合 東 080-5182-8028

31日(火)～2月4日(土)  
東京地下鉄親交会写真部展  
「My写真館12」  
問合 内村 080-5536-4205

17日(金)～19日(日)  
立教大学書道研究会卒業記念  
展覧会  
問合 久慈 090-8439-7273

21日(火)～27日(月)  
法政小金井写真部 春写真展  
問合 法政小金井写真部  
photo.club.at.koganei@gmail.com

3日(金)～5日(日)  
Atelier East-West同時開催  
映身展2017  
問合 白杵 080-1774-1194

7日(火)～12日(日)  
平成28年度 東京空装資料展  
問合 東京都生活文化局  
文化振興部文化事業課  
記念行事担当  
芦田 03-5388-3141

15日(水)～19日(日)  
第31回 金曜会絵画展  
問合 小笠原 03-3969-4982

21日(火)～23日(木)  
古流いけばな作品展  
問合 栗原 03-5998-6474

25日(土)～26日(日)  
Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催  
第2回 池袋鉄道模型芸術祭  
料金 500円  
(保護者同伴の小学生以下は無料)  
問合 平井 03-6914-3581

28日(火)～4月3日(月)  
第44回伊藤嘉翔賞  
ファイナリスト舞台美術展  
問合 日本舞台美術家協会  
03-6300-9104

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00～19:00)

## バレンタイン・ファンタジー池袋 2017

2月11日(土・祝)～12日(日) 池袋西口および東口エリア

詳細はHPへ



## 2017年2月、池袋がとびきりのロマンチックで包まれる

世界中で「愛の日」として知られ、祝われている「バレンタイン・デー」。

一昨年、昨年に続き、国境や世代を超えて親しまれている“バレンタイン”を祝う「バレンタイン・ファンタジー池袋 2017」が開催されます。フランス・ストラスブール市の協力のもと、池袋駅西口と東口周辺で、“バレンタイン”にちなんだオブジェの展示やパフォーマンス、物販など、様々なイベントが展開されます。「バレンタイン・ファンタジー池袋」でロマンチックなひとときをお楽しみください。

【問合せ】豊島区観光協会 03-3981-5849 主催:バレンタイン・ファンタジー池袋実行委員会 共催:ストラスブール市／豊島区／豊島区観光協会／東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) ほか

## 東京芸術劇場 バックステージツアー

1月20日(金) コンサートホール編／3月29日(水) プレイハウス編

詳細はHPへ



## 憧れのステージ裏を大公開!

様々な種類のホールを持つ東京芸術劇場の舞台裏をのぞくことができる“バックステージツアー”を開催します! 楽屋から、照明、音響、舞台機構など、普段の公演では絶対に見ることのできないバックステージを探検。この機会にぜひ、ご参加ください。

申込開始日:コンサートホール編 12月20日(火)／プレイハウス編 3月1日(水)  
【参加費】1,000円(先着順・要事前申込み) 【問合せ】東京芸術劇場 教育普及担当 03-5391-2116

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

## 2017都民芸術フェスティバル

1月5日(木)～3月31日(金) 東京芸術劇場、東京文化会館 ほか



## 観に行こう、東京の舞台芸術

オーケストラ、室内楽、オペラ、バレエ、現代演劇、現代舞踊、邦楽、日本舞踊、能楽、民俗芸能、寄席芸能の全11分野を網羅した、今年度49回目を迎える舞台芸術の祭典。東京の文化をかたちづくる多彩な分野の公演を、身近に楽しめる絶好の機会です。

【問合せ】都民芸術フェスティバル担当 03-5391-2116 [www.tomin-fes.com](http://www.tomin-fes.com)

主催:東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団

## 第13回 子どもたちと芸術家の出あう街 2017

3月25日(土) コンサートホール、ミーティングルーム・リハーサルルーム ほか

詳細はP14へ



## 夢・体験! 東京フィルハーモニー交響楽団 キラキラ★コンサート

毎春恒例の「子どもたちと芸術家の出あう街」。今回は“キラキラ輝く夢に向かって”をテーマに様々なイベントを実施します。本公演では「世界名作劇場」人気作品のアニメ映像と共に、オーケストラの演奏をご家族でお楽しみください。

【お問合せ】東京フィルチケットサービス 03-5353-9522(平日10時～18時)

主催:東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団／子どもたちと芸術家の出あう街実行委員会

## 第2回 池袋鉄道模型芸術祭

3月25日(土)・26日(日) ギャラリー1・2／アトリエイースト・ウエスト／池袋西口公園 ほか

詳細はP15へ



## 桜咲く池袋に、再びSLの汽笛が響き渡る!

鉄道の街を象徴する「池袋鉄道模型芸術祭」が今度は春に開催されます。鉄道模型界を代表するトップモデラーの作品が一堂に集結し、実物の蒸気機関車が街中を走る。楽しさと思い出溢れる鉄道のロマンに触れて下さい。

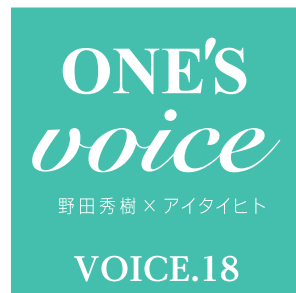
【料金】500円(保護者同伴の小学生以下は無料) 【問合せ】日本鉄道模型の会 03-6914-3581

主催:日本鉄道模型の会 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区





撮影：篠山紀信（「TOKYO」の写真のみ）



## 野田秀樹 × GAMO × 谷中 敦

（東京スカパラダイスオーケストラ / Tenor sax）

（東京スカパラダイスオーケストラ / Baritone sax）

## 旅して交流して見えてくるものが、東京らしさになる。

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた東京都の文化プログラムのひとつ『東京キャラバン』が、いよいよ本格的にスタート。その名の通り、旅しながら活動し、運ぶのはモノでなく文化、メンバーは固定せず、ジャンルも不問、旅先で出会った人も次々と巻き込んでいく前代未聞のプロジェクトだ。発案者の野田秀樹と、野田が掲げる「文化混流」のコンセプトに賛同し、東京キャラバンが赴く各地で観客を熱狂させた東京スカパラダイスオーケストラのGAMOさん、谷中敦さんに、長い旅の始まりの手応えを聞いた。

### 東京キャラバンとは

野田秀樹の発案により、多種多様なアーティストが出会い「文化混流」することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たなムーブメント。2016年8月には五輪開催に湧くりオデジャネイロにて、9月には東北（宮城・福島）にて、様々なジャンルの日本人アーティストが、現地のアーティストと出会い、国境／言語／文化、そしてそれぞれのジャンルを超えた「文化混流」ワークショップ及び創作を行いました。10月にはそれらの創作と昨年の「東京キャラバン〜ブローグ〜」でのパフォーマンスを組み合わせ、「東京キャラバン in 六本木」を開催しました。東京キャラバンは、さらに活動を充実させながら、全国各地に出現し、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を継続的に図っていきます。  
http://tokyocaravan.jp/

主催：東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

### 言葉をパスして共通のイメージを持つ

——『東京キャラバン』の詳しい内容の前に、このプロジェクトにスカパラの皆さんが参加することになった経緯を教えてください。

**野田** 松（たか子）さんが取り持ってくれたんですよ。

**谷中** リオから東京へ、オリンピック（開催地）を橋渡しする企画を野田さんが始められたと聞いて、おもしろそうだったんです。ロンドンオリンピッ

クでも、開催までにいろんな土地を回って、最後にロンドンで大々的に盛り上がるプログラムがあったそうですが、そうやって何年か先を見据える形でやれることはたくさんあるだろうし、それを野田さんが指揮されるというのが魅力的で。以前、松さんが出演された『オイル』（2003年）を僕は拝見していて、こんなに素晴らしい舞台をつくる人がいるんだと驚いたんです。それでぜひ音楽部門で参加させてもらいたいと。松さんの旦那さん（ギタリストで音楽プロデューサーの佐橋佳幸氏）と仲良しなので、松さんにその旨を伝えたら、野田さんを紹介してもらえました。

——松さんは昨年の『東京キャラバン』プレビューに出演され、いわば誕生に立ち会われました。メンバーが流動的で、しかもそんなふうに横のつながりで参加が決まっていくのもおもしろいですね。

**野田** ちょうど松さんが出演してくれた『逆鱗』をやっていた時期で、メンバーの皆さんが揃って観に来てくれて。楽屋でズラッと並んだスカパラさんの存在感がすごかった（笑）。もうそこをお願いしたんでしたっけ？

**GAMO** そうだったと思います。そのあと僕らの京都のライブに野田さんが来てくださって。

**野田** そこから結構すぐですよ、一緒にリオに行っていたいたのは。

——オリンピック開催中の8月、能楽師の津村禮次郎さんや振付家の井手茂太さんらも交えて公開ワークショップをされましたね。そして9月には宮城と福島でワークショップがあり、その都度、参加者が入れ代わりながら、現地のアーティストや伝統芸能の担い手の方たちとコラボを重ね、10月の六本木で「文化サーカス」としてお披露目となりました。改めて野田さんに『東京キャラバン』を始めた経緯をお聞かせしたいのですが。

**野田** オリンピックは近年、スポーツだけでなく文化事業も大切な要素になっていて、じゃあ今度の東京オリンピックでは何をするのかという議論があるわけです。でも、日本の会議にありがちですけど、理念の話は出ても具体的な案はなかなか出ない。そういう中で、例えばどこかの広場に万国旗が飾られたら、それだけで何かわくわくする。そういうシンプルな感覚がまず大事で、それに「文化サーカス」という名前を付けて、分野をクロスオーバーさせて集まったらどうだろうと提案したのが始まりです。その時点では、どうい

ものになるか自分でもまったくわからなかったんですけど。

——それで、さまざまなジャンルの方に声をかけられた。

**野田** そうです。で、自分が入り込めるのはやっぱり言葉なので、あるイメージを共有してもらえるもの——詩と呼べるほどのものではありませんけど——を書いて、皆さんにパスして、ミュージシャンならどういう音を入れるか、ダンサーならどんな動きをするかを考えてもらって、それをひとつにしよう。リオと一緒にいった皆さんには、最初に「掘る」というキーワードを伝えたんですよね。ブラジルが日本のちょうど反対側ということで、足元をどんどん掘っていったら、地球の裏側に出るんじゃないかという子供の頃の発想から来たものでした。

**谷中** そしてリオの会場に着いてから、全員にコピーが配られて。

**野田** 「掘る」から着想して、確か行きの飛行機の中で書き上げたんです。タイトルは「地球の反対から来たおはなし」でした。

**谷中** さっき野田さんは謙遜されていましたが、読ませてもらった時、僕自身も歌詞を書いたりしているものですから多少は言葉に敏感なんですが、これは完全に詩だ、と思いました。ストーリーがあり、イメージが湧く美しい詩で、その中で僕らは自由に参加すればいいんだとわかったし、それがいろんな人の手を渡って、ブラジルのお客さんに広がっていくのはすごく夢のあることだなと思いました。

### リオで感じた、能×スカの手応え

——奇しくも、日本から最も遠い場所からキャラバンはスタートしたわけですが、どんなことから始められたのでしょうか？

**野田** いや、それがスカパラさんのおかげで助かって。一緒に旅して思いましたが、外に行くのにこんなに適任の人たちはいませんね。いきなり周囲を引き込む。音楽性もそうなんでしょうけど、皆さんが持っている人間性みたいなものがオープンなんだろうな。音が出た途端に注目が集まる。子供なんて最たるもので、どんどん寄ってきました。

**谷中** いろいろな土地へ行っていますから、まず自分から心を開く方が早い



## HIDEKI NODA × GAMO × ATSUSHI YANAKA

なってことを身体で覚えてただけです。それに僕ら、何度も南米や中南米でライブをやっているの。

**野田** そう、失礼ながら僕は知らなかったんだけど、リオでのスカパラさんの人気はすごい。だから申し訳なかったけれども「最初は客寄せでひとつよろしく」と頼ることが多かった。ま、贅沢な話なんだけど。でもとにかく、音が強いから反応がいいんだよね。

—— リオでは具体的にどんなことを？

**野田** つくっていく過程も全部見せたんです。僕らが使った場所が、オリンピックの時に4つぐらいあった中心地のひとつで、歴史的な建造物が並ぶ一角の中庭でした。だから半分オープンで、周囲の建物のパティオから覗いている人も多かったですね。

**谷中** カフェも近くにあって、音楽が始まるとそこのお客さんが集まってきてくれたり。ブラジルのミュージシャンともセッションして楽しかったですけど、稽古初日に野田さんからいきなり、津村さんと谷中のフルートで、ふたりだけで何かやってほしいと言われたのには焦りました(笑)。でも結果的に、すごくいい時間になりました。

**野田** 見事なセッションでした。それで調子に乗って(笑)、津村先生に「もうちょっとスカパラさんとぶつかってみませんか?」と言ったら快諾してくれたのはいいんだけど、スカパラさん、9人いるのに、その全員と津村先生がセッションしてヘロヘロになってしまって……(笑)。

**谷中** ご本人は「ヘロヘロにはなっていない!」とおっしゃっていましたが(笑)。でもスカパラのソコと1対1で、しかも能で対峙するって体力も気力もとんでもないですよ。津村先生、めちゃくちゃ格好良かった。

**野田** 終わった瞬間に、お客さんがワーツと大歓声で寄ってきて。

**谷中** 津村さんの格好良さが、観ている人全員に伝わっている感覚がはっきりあって、能のことを知らない人も多かったでしょうに、この格好良さをわかってくれるんだというのが、僕はたまらなくうれしかったです。

**GAMO** 僕らもそうだし、おそらく津村さんも、野田さんのリクエストに対しては、無茶だなと思いつつ、なぜか燃えるんですよ。そこを見越して投げかけてくれるのかなと。

**野田** そういう邪心はないです。ただもう、頼れそうな人に頼っているだけ(笑)。

## 行った先の人も巻き込むのがキャラバン

—— リオのあと、9月に宮城と福島でワークショップを含めた公演があり、10月の六本木でのお披露目では、リオからダンサーやミュージシャン、東北の鹿踊り(岩手県)や雀踊り(宮城県)といった、これまでの旅先で出会った人がキャラバンに加わり、それぞれのコラボが観られました。

**野田** 行った先で何か受け取って帰ってくる、行った先の人を巻き込むことは、最初から考えていました。キャラバンとは本来、ただ移動するのではなく、取引が目的の旅なんです。そういう双方向の関係が築けると、こちらもその後の作品の幅が非常に広がりますし、もともとあるものと新しく入ってきたものとの意外な相性の良さも発見できたりする。今回、ブラジルのチームが入って気付いたのは、リズムさえ取れば、そこから交わっていけるんだと。ミュージシャンやダンサーの人たちは、リズムを取り出して話がどんどん進むんですね。それはすごく興味深いし、羨ましい。

**GAMO** 僕らがやっているスカは、もともとはジャマイカで生まれたリズムなんですけど、結構、日本の古典音楽に近いところがあったり、実はいろんな地域の音楽にハマるんですよ。

**野田** 一緒にやってみてわかるのは、交わりそうにないものも意外と共通点が見つかるし、当然だけど大きな違いがあるということだよ。例えばブラジルの人たちのステップは、なかなか日本人には真似出来ない。

**谷中** しかも彼らにとっては、当たり前過ぎるくらい当たり前の技術なんです。それこそが1番おもしろい部分で、僕らが何気なくやっていることが彼らには「それ、どうやっているの? おもしろいね」だったりする。キャラバンはそういうことがたくさん発見できて、それぞれの文化の価値がどちらも上がっていくのは素晴らしいですよ。

## オリンピックのあとも続くプロジェクトに

—— ところで皆さんは東京らしさについてどんなふうにお考えですか?

『東京キャラバン』と名乗り、東京から出発して東京に戻ってくるプロジェクトなので、ぜひお聞きしておきたいです。

**野田** 東京が主語になると、東京に住んでいる人間は、自動的に日本のことだと思う人は多いし、実際、そういう場合もある。オリンピックも東京の人たちだけのものではないでしょう? だから難しい問題ではあるんだけど、『東京キャラバン』を始めるにあたって僕が言っているのは「文化は交通」だということ。要するに、東京という場所に行き来する道をたくさんつくり、そこで出会ってどんどん交流することが大事なんです。キャラバンで行った先々の人を連れてくるのはマレビト(他界からの来訪者。異人、稀人)を迎えることだし、そういうスタイルが東京らしさということでないんじゃないかと考えていますね。

**谷中** 東京で1番派手に遊んでいる人は、意外と東京出身の人じゃなかったりするし、「俺は東京人だ」と言ったら誰でも東京人になれる。だから東京らしさって難しいですけど、逆にその懐の深さが東京だと思います。それだけですごく夢がありますよね。

**GAMO** 僕は北海道出身ですし、東京って何だろうということは未だにわかりません。でも海外に行かせてもらって、東京スカパラダイスオーケストラというバンド名は本当にわかりやすく、世界中どこでもそれだけで全部の

説明が済む。おかげでどこに行っても自然体でいられるんですよ。

—— 地図上にある東京ではなく、旅をして出会って交わるという運動の中に新しい東京を探す、コラボレーションから浮かび上がってくる差異や共通点から東京を再設定するのが『東京キャラバン』だと理解していいでしょうか?

**野田** まあ、そういうことです。キャラバンはプロセスを見せるものでもあるので、いまのところはワークショップや公開稽古と言っていますが、いずれはつくっている過程も全部オープンにしていきたいです。

**GAMO** ワークショップは僕らにとってかなり新鮮でした。普段はつくるところは見せない。ライブかCDを作品として発表するじゃないですか。でもリオでは、つくる過程を見せることで、お客さんの空気感もパッケージできるんだと知って、それが衝撃的だったというか。

**谷中** 新曲をつくって録音してライブで演奏するのが僕らの通常の作業ですけど、レコーディングした後に「あ、ここはこうしておけばよかった」と思うことがあるんですよ。だったらレコーディングする前に披露して、お客さんと一緒につくり上げていく感覚で、構成やアレンジを練り直すことがあってもいいですよ。お客さんを前にしてやってみるって正解が見えやすいと思うので、公開リハはわくわくしながらやれますね。

—— 谷中さんとGAMOさんにお聞きします。表現者の中には、芸術や文化といった言葉に堅苦しさや権威性のようなものを感じて拒否反応を示す方がいますが、スカパラさんは抵抗はありませんか?

**谷中** 大学時代から、友達と誰も行かないような映画を観に行ったり、あまり有名ではない小説家の本を読んでは「こんなにおもしろいのね」と話したりするのが、とても楽しい時間でした。その延長で芸術的なものは大好きですし、自分たちの芸術的な部分は常に向上させていきたい指向もあります。『東京キャラバン』がいいなと思うのは、いろんな文化が混ざりながら、すごくきれいな形になっている点です。駒沢公園での「東京キャラバン〜プロローグ〜」(2015年)の写真を見ていただいた時に感じたのは、いろんな文化がごちゃっと入っているのに、整理されたひとつの絵として成立しているということでした。「ああ、こういう芸術のあり方って気持ちがいいな」と思ったんです。参加することで、それをより深く理解できるんじゃないかと思いますし、バンドマン、ミュージシャンの立場として言うのであれば、文化という新しいコミュニケーションツールを僕らなりにアップデートしていけばいいなと。

**GAMO** 僕はスカパラのメンバーに出会う前にジャズの世界にいて、素晴らしい人々をたくさん見てきたんですけど、そのなかですごく下世話なことから、高尚と言うと大げさですが、いわゆる芸術文化の世界まで、分け隔てなく入っていくことができました。だから芸術

とか文化という分け方の前に、自分の耳や目で「いい」と感じたものを信じてやっていますね。

—— 野田さんは、オリンピック後もこのプロジェクトを続けたいとお考えなんですよ?

**野田** 今度のオリンピックはレガシーがキーワードのひとつですけど、遺産というのは箱モノ(競技場など)だけではないだろうと思うんですね。文化的な遺産も残るべきで、それは人材であったり作品であったりするんですよ。が「あのときのキャラバンから育った」という人が出てきたらすごいし、キャラバンがそういう場所として続いていったらいいと思う。現段階では夢ですけど、不可能ではないと思っています。

モデレーター・文:徳永京子 撮影:押木良輔

### 今回のアイタイヒト

### 東京スカパラダイスオーケストラ [GAMO・谷中 敦]



ジャマイカ生まれのスカという音楽を、自ら演奏する楽曲は「トーキョースカ」と称して独自のジャンルを築き上げ、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、南米と世界を股にかけ活躍する大所帯スカバンド。1990年メジャーデビュー。これまでオリジナルアルバム19枚発売。2015年に25周年を記念してオールタイムベストアルバム「The Last」を発表した。現在、全国ライブハウスTOUR「Paradise Has No Border」全25公演を敢行中! [www.tokyoska.net](http://www.tokyoska.net)

### 野田秀樹 HIDEKI NODA

1955年、長崎県生まれ。劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成。92年劇団解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』『逆鱗』などの話題作を発表。歌舞伎『野田版 研辰の討たれ』の脚本・演出や、モーツァルト歌劇『フィガロの結婚〜庭師は見た!〜』の演出、海外での共同制作など、演劇界の枠を超え国内のみならず海外でも精力的な創作活動を行う。様々なアーティストとの文化混流による「東京キャラバン」を2015年よりブラジルや東北など国内外で展開。

NODA・MAP 第21回公演

「足跡姫〜時代錯誤冬幽霊〜」

作・演出 野田秀樹  
[www.nodamap.com/](http://www.nodamap.com/)

特集はP1〜2へ





カミーユ・ボワテル  
「ヨブの話ー善き人のいわれなき受難」  
L'homme de Hus

構成・演出・振付：カミーユ・ボワテル  
出演：カミーユ・ボワテル／ミシェル・フィリス／  
ヴァンサン・ボーム／マリオン・ルフェーブル／大歳芽里

2016.9/30(Fri)-10/2(Sun) Playhouse

撮影：前田圭蔵（東京芸術劇場）



芸劇dance  
勅使川原三郎×山下洋輔 「up」

構成・振付・美術・照明：勅使川原三郎  
出演：勅使川原三郎 佐東利穂子／山下洋輔

2016.10/7(Fri)-9(Sun) Playhouse

撮影：阿部章仁



「かもめ」

作：アントン・チェーホフ  
翻訳・上演台本：木内宏昌  
演出：熊林弘高  
出演：満島ひかり／田中圭／坂口健太郎／渡辺大知／  
あめくみちこ／山路和弘／渡辺哲／小林勝也／  
中嶋朋子／佐藤オリエ

2016.10/29(Sat)-11/13(Sun) Playhouse

撮影：園田昭彦



日本・シンガポール・インドネシア  
国際共同制作「三代目、リチャード」  
Sandaime Richard

作：野田秀樹  
ウィリアム・シェイクスピア「リチャード三世」(小田島雄志訳)より  
演出：オン・ケンセン(シンガポール国際芸術祭芸術監督)  
出演：中村孝太郎／茂山肇司／ジャニス・コー／  
ヤヤン・C・ヌール／イ・カデック・ブディ・ステアワン／  
たきいみぎ／江本純子／久世星佳

2016.11/26(Sat)-12/4(Sun) Theatre West

撮影：石川純

I N F O R M A T I O N

「鑑賞サポート」目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(対象日限定無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

1～3月 対象公演 コドモ発射プロジェクト「なむはむだはむ」  
ときあやまってふゆのゆうれい  
NODA・MAP 第21回公演「足跡姫～時代錯誤冬幽霊～」

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート Vol.16  
ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.119

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

東京芸術劇場 コンサートホール  
＜写真提供 東京芸術劇場＞

鑑賞・観劇を快適にするために  
私たちはお客様をサポートします。

ヴォートルは今年創業30周年を迎えました。

スタッフ募集中！ 私たちと一緒に東京芸術劇場で働きませんか。 詳しくはお問い合わせください。

Votre

株式会社ヴォートル

〒156-0043 東京都世田谷区松原3-40-7 Pine Field Bldg. 4F  
TEL 03-5355-1277 http://www.votre.co.jp

詳しい求人情報はウェブで

ヴォートル 求人

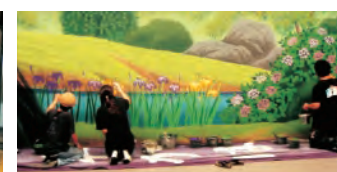
検索

伝統に裏付けられた確かな技術——



明治座舞台株式会社

舞台道具の製作や、東京芸術劇場ほかの舞台  
管理業務受託など、これからは皆様に多彩な  
舞台と新たな感動を提供し続けて参ります。



一般建設業 東京都知事 許可(般-22)第135048号  
特定労働者派遣事業 特13-314311

お問い合わせ先 ☎03(3660) 3919  
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号